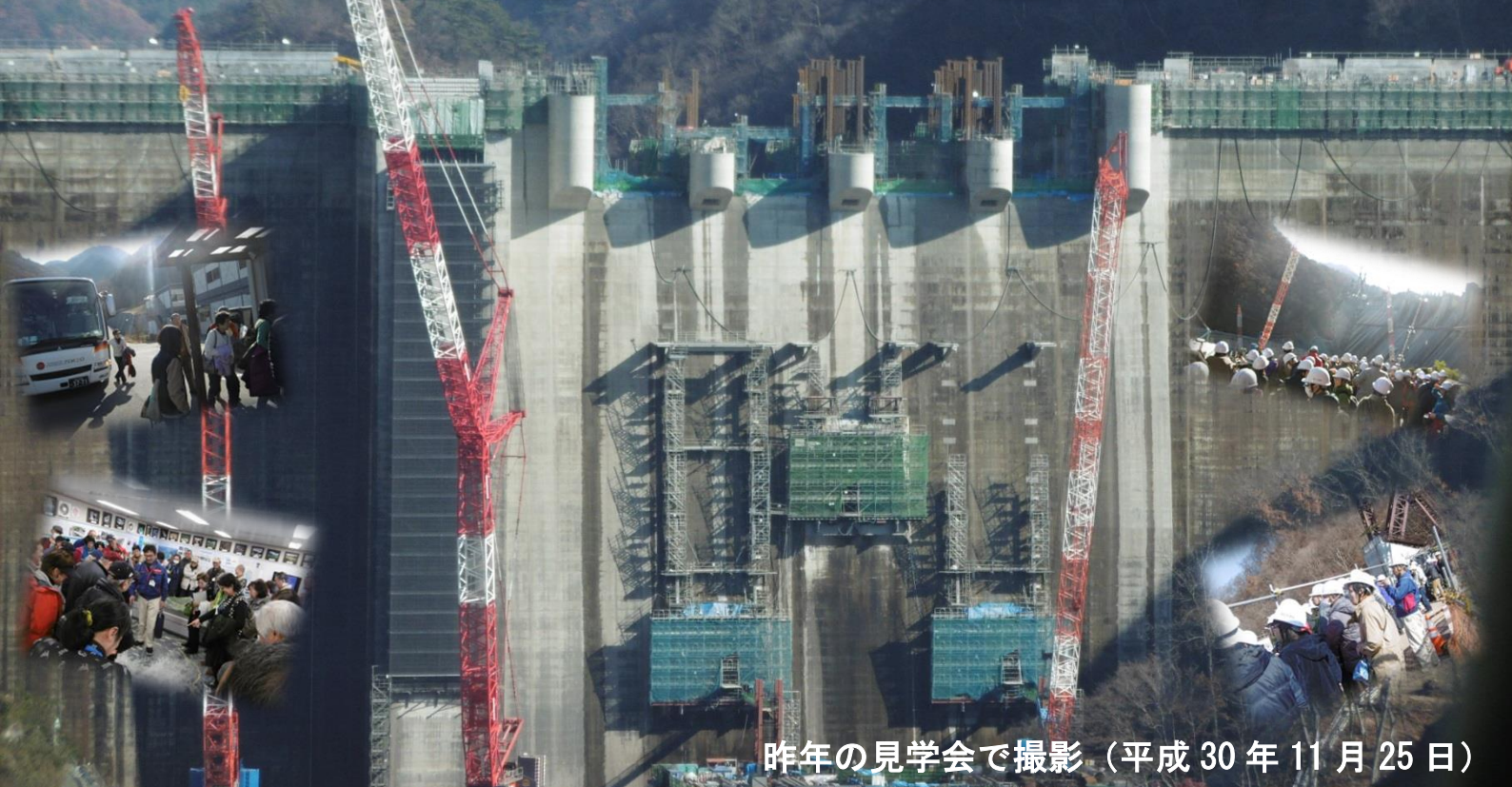


# ハツ場ダム見学会



昨年の見学会で撮影（平成30年11月25日）

**毎年見学しているハツ場ダム建設現場を今年も見学します。  
平成31年度完成を目指して建設事業を行っております。  
令和元年6月にダム本体のコンクリート打設が完了しました。  
今後は、非常用洪水吐設備の設置工事等が完了した後に、試験湛  
水を開始します。（ハツ場ダム工事事務所ホームページより）  
ハツ場ダム建設の進捗状況を皆様の目でお確かめ下さい。**

下記のとおり実施いたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日 時	令和元年11月10日（日）	7：30集合・出発
集合場所	JR新小岩駅 東北広場（裏面地図参照）	
参加費	1,000円（資料、交通費、保険料の一部として）	
募集人数	45名（先着順）	eizoutoshikeikaku@gmail.com 携帯 080-4006-8819
行 程	7：30 出発（集合次第出発します）	
	11：00 なるほど！やんば資料館 到着（※昼食時間は特に設けません。各自ご持参ください。）	
	概要説明	
	工事現場見学・ダム上部（右岸天端）・ダム下部（左岸下流）など	
		（工事現場の状況により見学箇所が変更になる場合があります。）
	15：00 見学終了予定	
	19：00 JR新小岩 東北広場 到着予定（道路状況により流動的です。）	
	主催	市民防災まちづくり塾実行委員会・関東地域づくり協会

# 1 ハッ場ダムはどんなダム？（ハッ場ダムの建設場所・ダムの概要）

## 利根川流域では3番目に大きなダムになります

ハッ場ダムは、吾妻川の中流域に位置する、群馬県吾妻郡長野原町において建設を進めています。吾妻川は、群馬と長野の県境にある鳥居峠を源流として、複数の支川を合わせて、途中、吾妻峡と称される景観をつくりながら渋川市付近で利根川と合流する一級河川で、その流域面積は約1,370km<sup>2</sup>、幹線流路延長は約76kmに及ぶ利根川水系の代表的な支川のひとつです。

## 利根川上流の5ダムに匹敵する、ハッ場ダムの治水容量

大雨などによって川が増水したとき、それがそのまま下流部へと流れてしまうと、洪水など思わぬ災害が起こる危険性があります。そんなとき、ハッ場ダムは大量の水をダムに貯めこみ、下流へ少しずつ流すことによって洪水の発生を防ぐことができます。計画では、洪水期（7月1日～10月5日）に6,500万立方メートルの調節容量を確保して、ダム下流における計画高水流量、毎秒3,900立方メートルのうち約61パーセントに当たる毎秒2,400立方メートルの流水を調節し、ダム下流への放流量を毎秒1,500立方メートルに低減することになります。ちなみに、6,500万立方メートルというハッ場ダムの調節容量は、利根川上流の既設5ダム（矢木沢・藤原・相俣・菌原・奈良俣ダム）を合わせた調節容量（7,984万立方メートル）に匹敵するほどの大きさ。この洪水調節により、下流の吾妻川沿岸や群馬県内の利根川本川沿岸はもちろん、利根川下流部の茨城県・埼玉県・千葉県・東京都など首都圏の洪水被害が軽減されます。なお、利根川（渋川地点下流、平成2年度河川現況調査による）における想定氾濫区域の面積は1,850km<sup>2</sup>となり、区域内の資産額約50兆円、人口約450万人に影響が及ぶものと想定されています。

## 不安定取水を解消、水利用を安定化します

産業に、生活にと大量の水を必要とする首都圏。下流部に首都圏を抱える利根川水系では水需要が逼迫し続けており、河川に多くの水が流れているときだけ取水可能な不安定取水によってまかなわれています。また2～3年に1回渇水が発生しているのが現状です。ハッ場ダムが完成すると、水道用水としては茨城・群馬・埼玉・千葉・東京の18区・7市・43町・8村へ、工業用水としては群馬・千葉の9市・5町という広範囲に供給が可能となります。また不安定取水も解消され、利根川水系の水利用の安定化が図られます。ハッ場ダムの利水計画策定にあたっては、利水基準年を昭和35年として、おおむね5年に1回程度発生する規模の渇水に対処する計画として策定しています。ハッ場ダムは、利根川水系に配置される多目的ダム等の貯水池群をより有効に運用することとした利水計算を行っており、その新規開発水量は、非洪水期9,000万立方メートル、洪水期2,500万立方メートルの利水容量を使って、通年開発毎秒9.580立方メートル、農業用水の合理化による灌漑期における用水の確保（別途手当）と合わせて毎秒12.629立方メートルの計毎秒22.209立方メートルを開発する計画です。急激な都市化により水道用水及び工業用水の暫定水利権として、すでに毎秒12.918立方メートルの水が現在取水されています。

### 注意事項

1. 視察は徒歩経路もありますので、運動靴等の靴は必須。服装は、多少汚れてもよいもの（ジーパン等）をお願いします。
2. 晴天の場合は、ちょっとしたハイキングになりますので、両手が見えるようカバンはバックパックをお勧めします。飲料水もお忘れなく。万一に備えて雨具の用意もお忘れなく。なお、雨天の場合は視察ルートが変わります。
3. 場合によっては、遠方からの見学になるため、双眼鏡等をご持参下さい。

## 新小岩駅東北広場案内図



### 集合場所

JR新小岩駅北口から北口連絡通路を渡って、ロータリー広場にお集まりください。

